

昭和61年 WHEEL HOUSE, CONTROL ROOM

1. 「城山丸」 「船の科学」1986-3 (Vol.39, No.3) より採取。

- ・安全、省燃費、省力化対策が実施された 82,000 m³ 型低温式 LPG 船「城山丸」
DWT 49,999 t
- ・船主 : 新和海運(株)
- ・建造 : 三菱重工業(株)長崎造船所
昭和61年1月31日 竣工

1) W61-01 城山丸 本船全景

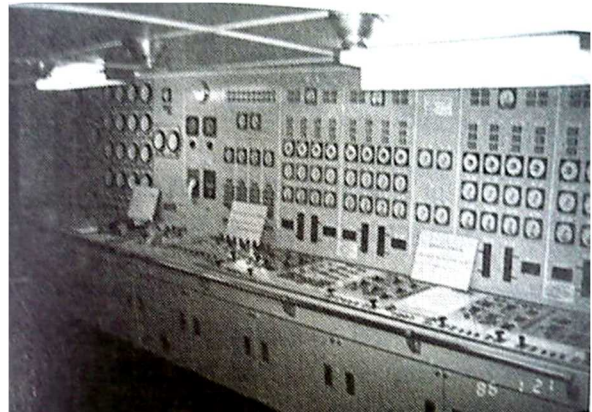


- ・1) は本船全景。
- ・2) は操舵室内の Engine Console
- ・3) は Cargo Control Room の Console

2) W61-02 城山丸 操舵室内 Eng. Console



3) W61-03 城山丸 Cargo Console



2. 「CALLIOPE」(カリオペ) 「船の科学」1986-5 (Vol.39, No.5) より採取。

- ・超デラックス・モータヨット「CALLIOPE」140 フィート型カナダ向け 総トン数 439 T
主機関 キャタピラ三菱 3512TA 型(デ)機関×2 1,250 PS ×2 速力(航海) 13.0 kn
乗組員 10名、旅客 10名
- ・船主 : Canadian Penzance (U.K.) ・建造 : 日立造船(株)神奈川工場 昭和61年3月11日 竣工
- ・4) は本船全景、5) は PILOT HOUSE 操縦席

4) W61-04 CALLIOPE 本船全景



5) W61-05 CALLIOPE 操縦席



3. 「STOLT AUSTRALIA」 「船の科学」1987-2 (Vol.40, No.2) より採取。

- ・ 10,428 m³ 積外航ケミカルタンカー
- 「STOLT AUSTRALIA」 DWT 9,939 t
- 異種貨物の同時積付けが可能なるよう 1タンク・1ポンプ・1パイプラインの完全独立方式採用。石油製品、化学製品の輸送を行う。
- ・ 船主 : DE Uyeno (Bermuda) Ltd. (Australia)
- ・ 建造 : 三菱重工業(株) 下関造船所
昭和61年9月19日 竣工
- ・ 6) は本船全景。
- ・ 7) は操舵室、8) は荷役制御室。

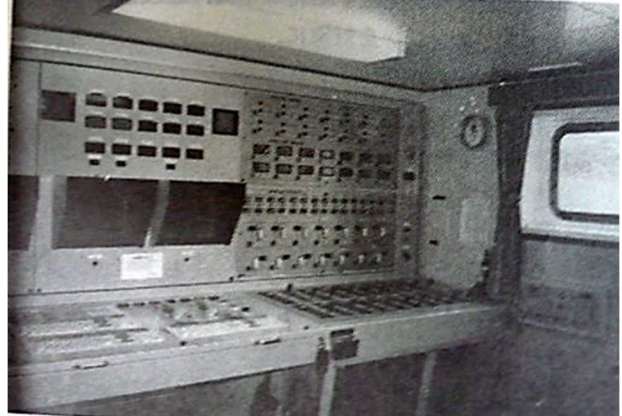
6) W61-06 STOLT AUSTRALIA 本船全景



7) W61-07 STOLT AUSTRALIA 操舵室



8) W61-08 STOLT AUSTRALIA 荷役制御室



4. 「東京丸」 「船の科学」1987-3 (Vol.40, No.3) より採取。

- ・ 第二世代 VLCC の最新鋭船 (258,000 DWT 型油槽船) 「東京丸」 DWT 258,374 t
- 省エネ対策としては、自己研磨型長期防汚塗料の採用、リアクションフィンの採用、ロングストローク低回転機関の採用、スーパーボ発電システム (TG+SG) の採用など。
- ・ 船主 : 東京タンカー(株) ・ 建造 : 三菱重工業(株) 長崎造船所 昭和61年10月24日 竣工
- ・ 9) は本船全景、10) は集中制御室で、船橋に操舵関係、荷役制御盤、機関制御盤、総合事務室、無線室を集中配置している。

9) W61-09 東京丸 本船全景



10) W61-10 東京丸 集中制御室



[メ モ]

- 1) この年の建造船としては 低温式LPG船、超デラックス・モータヨット、異種貨物の同時積付け可能なケミカルタンカー、第二世代の新鋭VLCCなどがあげられる。
- 2) 省エネ、省人化対策は前年とほぼ同じ。
- 3) 船橋に集中制御室を設ける方式は前年と同じ。